



若澤佑典文学部准教授
(日吉・英語)

<「湿気の月」をなるべく愉快地面白く>

なぜ、こうも毎日暑いのでしょうか。学期末というのに、汗で本の頁はめくりにくく、そもそも机に向う元気すらおきません。もはや日本の7月は、何かを読んだり、考えることに適した時期ではなくなっています。一方で、こんな時期はなにもせず、ノンビリと思考を放棄したくなります。他方で、こんな時期だからこそ「気象が私たちの思考と言葉を形作る力」に思いを馳せ、朦朧とした中で、普段では出てこない言葉を中空に放ってみたくになります。和辻哲郎の風土論から文化人類学のフィールド的感性にいたるまで、空間／気象が持つ言語的創発性について、本を持ち寄って、一緒にキーワードを探索してみましょう。

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回のみの単発参加の両方を歓迎します。

日吉の1~2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集ってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です!

熱帯的 感受性 ムシムシの彼岸にある言葉たち

7月16日(水)

17:00~

18:00 (予定)

※途中入退室可

場所：日吉キャンパス
来往舎1階103/104
対象：塾生・教職員
(卒業生、高校生も
来場を歓迎します!)

★事前登録不要★

問い合わせ：

toiawase-lib@adst.keio.ac.jp